



渋谷区立原宿外苑中学校

令和5年11月号（11月1日発行）

学校だより



<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/haragaij>

DX(デジタル・トランスフォーメーション)からCX(カルチャー・トランスフォーメーション)へ

校長 駒崎 彰一

生活の様々な場面でテクノロジー(デジタル技術)が取り入れられ、効率的で快適な生活が確立されてきています。このような状況の中、さまざまな現場で「DX」という言葉が使われるようになりました。そして、その波は確実に教育現場にも押し寄せ、現在「教育DX」や「学校DX」という言葉が生まれ、喫緊の学校教育の「課題」として大きく位置付けられています。

渋谷区の教育DX化のスピード感、そして私自身が文部科学省「学校DX戦略アドバイザー」として活動していること、さらに保護者や地域関係者の皆様のご理解・ご協力により、現在「DX」化については、本校の「ストロングポイント」になっております。

「DX」化に向けて、「紙(アナログベース)であったものを単にデジタル化するだけではなく、根本からデジタルネイティブに転換すること」を目指したテクノロジーの「普段使い」を目標に様々な面で変革が進んできました。

授業での活用、学校からの「おたより」のペーパーレス化から着手して、学校Webサイトやビジネスチャットツール(Microsoft Teams)の徹底的活用、オンラインでの映像配信など、あらゆる教育活動や教職員の校務においてテクノロジーの導入が進み、デジタル機器がなくてはならない必須ツールになっています。

このような「DX」化は、終わりのない「挑戦」であると言われています。進化するテクノロジーを使いこなすには「挑戦」を続けなければなりません。途中で立ち止まることはできません。

常に、新しいコトに「挑戦」するためには、リスク(失敗)の捉え方に大きな変革が必要です。

日本には、「失敗 = 悪」「ミスは許されない」という文化(カルチャー)が根強く存在していると実感しています。特に「学校」という場においては、このカルチャーが強く存在しており、「学校」は失敗することを恐れて「変化」を嫌う傾向にあります。

誰もが自由に「創造的な活動」に挑戦できる。安心して「失敗」から学ぶことができる「カルチャー」への変革「CX」が重要であると考えます。

本校のキャッチフレーズである「やっちゃえ」の精神(Don't think. Just do !)、失敗を恐れずに「とにかくやってみる」ことにつながります。積極的な「失敗」から、課題を冷静に分析、試行錯誤を粘り強く繰り返すことで「成功」につなげていく。そして、その先にある「新しい文化(カルチャー)」を発信していく必要があるのではないかと…。

「渋谷」その中でも「原宿外苑」の地域は、日本最先端の「文化(カルチャー)」の発信源です。

この街、この学校で「誰もが自由に創造的な活動」を安心して展開できる「CX カルチャー・トランスフォーメーション」を進めていきたいと考えています。

東京ランフェス きれいな渋谷プロジェクト

10月15日(日)に、国立競技場をスタートそしてフィニッシュとして開催された「東京レガシー ハーフマラソン 2023」の開催を前に、国立競技場を中心に周辺地区のゴミ拾いをして、きれいな街でランナーの皆さんをお迎えしよう!という生徒会企画地域融合型プロジェクト。

4日(水)終業式後に予定しておりましたが、雨天により10日(火)始業式後に実施しました。

90リットルゴミ袋で「燃える×2」「燃えない×2」「ペットボトル×1」そして、今回は「路上飲酒」の景況からか、酒類の空き缶が目立ちました。

参加者には東京マラソン財団より「ランフェス缶バッジ」をいただきました。この缶バッジは10月中に協力施設で提示するとステキな特典が受けられるというものでした。



原外カフェ (第6回)

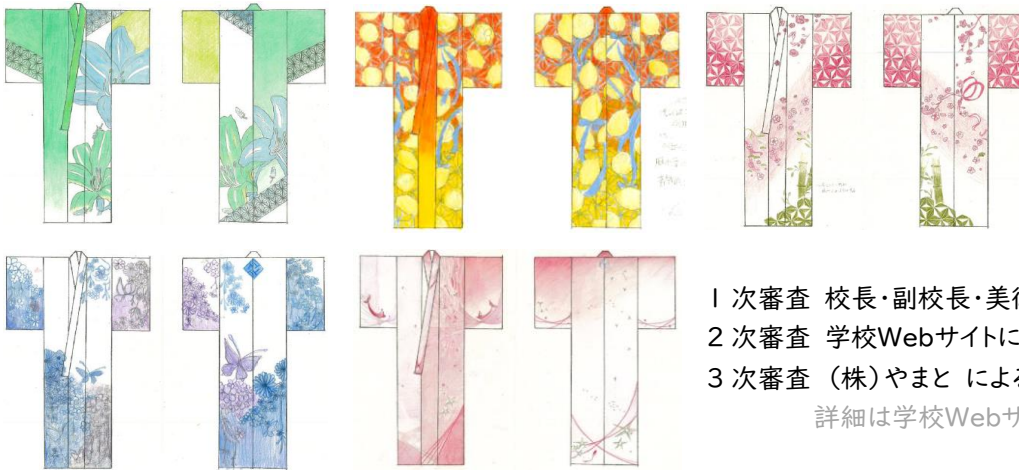
皆さんの投票により正式名称が「原外カフェ」に決定しました。今後のカフェの発展が楽しみです。第6回となり「運営」や「生徒の楽しみ方」も定着してきたようです。自然な笑顔で楽しむ姿が見られました。



(株)やまとコラボ企画 3年生による「ゆかた」デザインコンテスト(2次審査)

本年度の新たなプロジェクト。9月に着付け授業を展開していただいた(株)やまととのコラボレーション企画で3年生が「ゆかた」のデザインに挑戦しました。最優秀作品は・・・。

https://shibuya.schoolweb.ne.jp/w_eblog/files/1320122/doc/86077/552512.pdf



1次審査 校長・副校長・美術科担当 30作品に
2次審査 学校Webサイトによる投票 5作品に
3次審査 (株)やまとによる審査 最優秀作品決定
詳細は学校Webサイト「校長室だより」にて

なみき祭(舞台発表)

コロナ禍により「中止」や「縮小」と・・・影響の一番大きかった行事が戻ってきました。制限の厳しかった頃には、学校から「歌声が消える」という時期もありました。課題曲・自由曲の設定、参観も制限なくという中での実施となりました。また、吹奏楽部も東京都吹奏楽コンクールで金賞を受賞した「吹奏楽のための狂詩曲～鍾馗の伝説による」の披露や様々な演出があり、会場が一体感につつまれました。(写真は最優秀賞受賞クラスの様子)



